

成果の説明書

(氏名) 土谷岳史	(学部) 経済
1 重要事項 英国の EU 離脱を契機に EU の今後を検討する研究会をこれまで続けてきた。2019 年度はついに英国が EU 離脱をし、研究会の最終報告書をまとめることとなった。報告書に向けて研究会を重ね、報告及び討議をしてきた。 英国の今後の移民政策の動向についてと、EU における人の自由移動の将来について、2020 年 2 月末に報告書の原稿を提出したところである。報告書は 2020 年度の早い時期に発表される予定である。したがって、研究の詳細は報告書をご覧いただきたい。	
2 その他の事項 国際学科のゼミとして 2 年目が終わった。基礎ゼミで英語論文の輪読をし、3 年次ゼミでは EU の行政文書を読み解き、関連したレポートを作成させた。いずれのレポートの出来もよいものであったが、ひとつが学生懸賞論文で銀賞を受賞したことは客観的にレポートのレベルの高さが証明されたといえるだろう。	
3 次年度以降の計画・抱負 英国の EU 離脱についての研究は一区切りがついたので、現在行っているもう一つの研究課題である EU におけるロマの社会統合についての研究を進めたい。現在の状況ではどうなるかわからないが、研究会で報告予定であり、その後、論文にまとめたい。	